



探究を見学！授業実践「理数生物」

概要

- 授業者：合田 直人（理科）
- 日時・対象：令和5年6月27日（火）／1年生環境科学科
- 内容：酵素（生体触媒）と無機触媒の比較

導入 本時の目的・実験の説明



展開① 基礎実験 1～3



展開② グループで話し合いながら実験方法を考える。



展開② 検証実験



展開③ 考察・まとめ



まとめ HIMAWARI を用いて振り返り



●授業者が目指す授業、成果と展望、本時の感想など

まずは教科書にも言葉や写真で載っている酵素や無機触媒の「触媒作用」や「酵素と無機触媒の性質の違い」を実際にも実験することで確認してもらった。これだけでも生徒にとっては理解が深まる場面であったことが、プリントの感想欄からうかがえた。後半の考察の時間では、こちらが提示した内容について、「それが実現可能なのか」から考え、その「方法」や「理由」を考察してもらった。現状を把握し、課題を発見し、その解決方法を模索し、教え合い、実行し確かめる。この過程で生徒たちが得られたと感じているものは、私が想像していたよりも大きかった。何気ない実験に、ちょっとしたきっかけを作っただけで、教師と生徒、互いに有意義なもの生まれたと感じた。